

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の概要について

鶴岡市市民部コミュニティ推進課

目 次

計画の基本的な考え方	P1, 2
計画の体系	P3, 4
目指す5年後の方向性（計画の推進／連携イメージ図）	P5

計画の基本的な考え方①

計画の策定にあたって

●計画策定の趣旨

本市では、平成25年3月に「鶴岡市地域コミュニティ基本方針」、平成28年3月に「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」を策定し、地域コミュニティの維持・活性化に向けた取組を進め、コミュニティ活動の充実を図ってきました。

しかしながら、人口減少や少子高齢化、価値観の多様化、帰属意識の低下等地域を取り巻く状況の変化はさらに進み、地域課題も多様化・複雑化してきています。

今後、持続可能な地域社会を構築する上で、地域コミュニティはますます重要な機能を担うことが予想されることから、その維持・活性化は極めて重要な課題であるといえます。

このような状況を踏まえ、令和2年度末をもって終了する「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」を検証するとともに、現状と課題を分析・整理して、引き続き地域コミュニティの活性化を計画的に推進していくため、「第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画」を策定するものです。

●計画期間

本計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

●計画の策定方法

- ①アンケート調査の実施：住民主体によるまちづくり活動の現状を評価・検証するとともに、今後のまちづくりのあり方や方向性を探りました。
- ②意見交換会の実施：広域コミュニティや単位自治組織の役員等を対象にヒアリング等を実施し、地域の目標や新たな課題を情報収集しました。
- ③鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会の開催：計画の策定にあたり、住民自治組織の代表者や関係団体、学識経験者等からなる「鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会」を開催し、計画の内容について協議しました。

第1期計画の具体的取組状況（地域ビジョン）

現在、8地区で地域ビジョンを策定しており（三瀬、加茂、藤島、手向、宝谷、朝日東部、越沢、福栄）、いずれの地域でも、住民アンケート調査やワークショップを重ね、多くの住民の声を反映して策定しています。策定後、地域はビジョンの実現に向けて、引き続き検討を重ねながら事業に取り組んでいくこととなります。

このほか、アドバイザー職員の派遣等を活用しながら、10地区が地域ビジョン策定に向けた検討を始めており、住民主体による地域づくりが益々進むことが期待されます。

地域コミュニティをめぐる現状

●単位自治組織の世帯数規模

30世帯以下で構成される小規模な単位自治組織は、全市で3割を超えています。平成27年度と令和2年度の組織数はほぼ同じである一方、人口は減少していることから、各組織の構成人数も減少傾向にあることがうかがえます。

世帯数規模	H27		R2	
	組織数	割合(%)	組織数	割合(%)
0~10	22	4.7	23	5.0
11~30	127	27.3	135	29.2
31~50	96	20.6	96	20.7
51~100	105	22.6	99	21.4
101~200	66	14.2	61	13.2
201~	49	10.5	49	10.6
合計	465	100.0	463	100.0

●単位自治組織の加入率

単位自治組織への加入世帯割合は減少傾向にあるものの、平成28年度以降は改善傾向が見られます。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
世帯数	47,491	47,724	48,186	48,184	48,293	48,452	48,486	48,569	48,718	48,927
加入世帯	41,994	42,009	41,878	41,403	41,393	41,345	41,260	41,161	41,060	40,999
加入率	88.4%	88.0%	86.9%	85.9%	85.7%	85.3%	85.1%	84.7%	84.3%	83.8%

計画の基本的な考え方②

第2次鶴岡市総合計画（平成31年3月策定）

総合計画推進のための取組の方向性を示す

めざす都市像 ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡
 基本計画 1 暮らしと防災 …環境を保全し、一人ひとりが尊重され、心が通い合い、お互いを見守り支え合う、安全で安心して暮らせる地域コミュニティを構築します

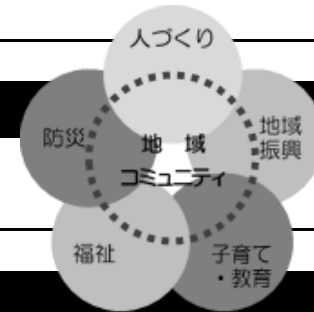
(1) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進
 ア 住民主体の地域づくりの推進
 イ 住民自治組織の強化と地域活動の担い手の確保

<施策の成果指標> 地域ビジョン策定件数 4件（H30年度）⇒ 20件（R10年度）

鶴岡市地域コミュニティ基本方針（平成25年3月策定）

基本方針の推進

持続可能な地域社会を構築するうえで重要な役割を担う地域コミュニティの維持・活性化に向けた、市民、地域、行政の共通指針。



鶴岡市地域コミュニティ推進計画（平成28年3月策定）

鶴岡市地域コミュニティ基本方針を推進するために、各地域の現状に合わせ、その特性や事業に配慮した地域コミュニティに係る取組を定めたもの。

<目指す5年後の方向性・令和2年度>

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く

<計画の柱>

- ①心の通い合う持続可能な住民自治組織づくり
- ②住民の安全・安心な暮らしの確保
- ③住民主体による地域課題解決力の向上
- ④地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

<構成>

- 地域課題…地域毎に単位・広域組織で課題と主な取組例を設定
- 市施策…市の地域コミュニティ施策と主な取組例を設定

地域ビジョン策定を推進

基本方針の継承

（令和2年1月30日 地域コミュニティ活性化推進委員会で協議）

目指す姿・計画の柱の継続

（令和2年8月7日 同委員会で協議）

【第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画（令和3年3月策定）】

次の5年間（令和3年度～令和7年度）の地域コミュニティに係る取組を定める。

策定方法：アンケート調査の実施、意見交換会の実施、地域コミュニティ活性化推進委員会の開催

計画の体系①

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画 概要

<p>目指す5年後の方向性(令和7年度)</p> <p>地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く</p>	<p>計画の柱</p> <p>I 心が通い合う持続可能な住民自治組織づくり II 住民の安全・安心な暮らしの確保 III 住民主体による地域課題解決力の向上 IV 地域特性を活かした魅力の維持・再発見</p>
---	---

取組テーマ	鶴岡地域 互いに支え合い、安心して暮らせる地域コミュニティの推進	藤島地域 子どもから高齢者まで、仲良く住みよい藤島づくり	羽黒地域 づめる、ささえあう、ひろがる、未来に笑顔をつなぐコミュニティの推進	楯弓地域 住民自治組織の活性化で安全・安心な地域づくり	朝日地域 地域の活力を掘り起し、住み続けられる地域を創り出す	温海地域 自然豊かに安心して暮らし続けられるコミュニティづくり
単位自治組織の課題	① 将来を見据えた持続可能な組織づくり ② 活動の担い手となる人材の確保と育成 ③ 情報発信と会員確保 ④ 地域課題の解決に向けた取組の実施 ⑤ 災害に備えたコミュニティづくり ⑥ 「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり	① 各世代が参加しやすい活動に再構築 ② 将来を見据えた持続可能な組織づくり ③ 広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し ④ 広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり ⑤ 地域福祉を近隣の輪で支える体制を再構築 ⑥ 「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり	① 将来を見据えた持続可能な組織づくり ② 多様な人材の活用と役員等の負担軽減 ③ 多世代が交流し、あいさつを交わし合える地域づくり ④ お互いを見守り支え合う安全で安心な地域づくり	① 広域コミュニティ組織の検討 ② 住民自治組織等の理解促進と事業の見直し ③ 次代を担う人材育成と後継者対策 ④ 安全・安心な地域の構築	① 将来を見据えた持続可能な組織づくり ② 住民による魅力的な事業づくり ③ 安全安心な地域づくりのための組織づくり ④ 単位自治組織の財産管理や環境整備事業の見直し ⑤ 希薄化した連帯感の再構築	① 健全な財政運営に向けた検討や組織の見直しによる役員等の負担軽減 ② 将来を見据えた単位自治組織の検討 ③ 安全で安心して暮らせる防犯・防災対策の推進 ④ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり ⑤ 高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり ⑥ 広域コミュニティ組織の検討

【第二期計画における重点課題と取組例】

- **人材確保と育成** (子育て世代、若者、女性、現役世代等がこれまでの経験や得意分野を活かし、活躍の場を拡大)
- **持続可能な組織づくり** (組織体制の見直し、事業内容の見直し、情報発信の工夫、SNSの活用など地域住民を惹きつける情報発信と事業企画・運営、広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し)
- **福祉・防災のまちづくり** (顔の見える関係性の構築、見守り・支え合い体制の仕組みづくり、有償ボランティアの導入、空き家情報の把握と市への情報提供)

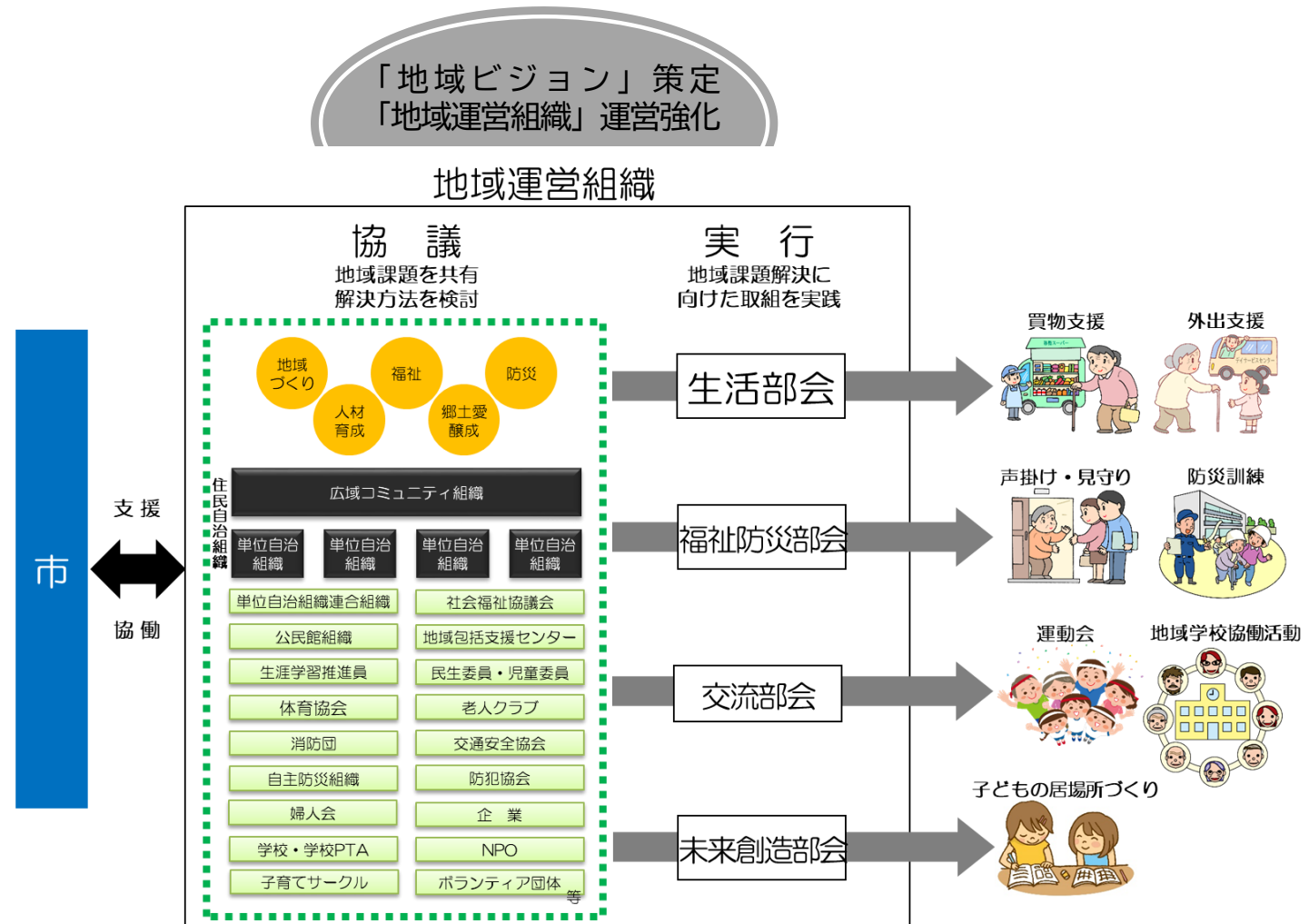
計画の体系②

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画 概要

	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	楡引地域	朝日地域	温海地域
広域コミュニティ組織の課題	①時代に調和する運営や事業展開と持続可能な組織づくり ②「地域ビジョン」策定など地域課題解決に向けた取組の強化 ③コミュニティ防災のまちづくり ④単位自治組織の機能補完 ⑤地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討 ⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり	①地区自治振興会を核とした活動の推進 ②持続可能な運営方法の確立 ③地区内外の団体との連携強化 ④福祉と防災で新たな役割を確立 ⑤「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり	①身近な地域の居場所づくり ②単位自治組織と連携した事業体制と新たな人材育成 ③郷土愛を育む学びの場と地域の魅力を発信できる仕組みづくり ④自主防災組織と連携した防災の体制づくり ⑤安心して暮らし続けられるコミュニティづくり	広域コミュニティ組織なし ※単位自治組織の関連項目(再掲) ①広域コミュニティ組織の検討	①住民理解の促進と単位自治組織への支援 ②人材の確保に向けた検討 ③希薄化した連帯感の再構築 ④安全安心な地域づくりのための組織づくり	広域コミュニティ組織なし ※単位自治組織の関連項目(再掲) ⑥広域コミュニティ組織の検討
	【第二期計画における重点課題と取組例】 ● 地域ビジョン策定など地域課題解決に向けた取組強化 (地域の課題や価値を共有するワークショップの実施、有償ボランティアなど課題解決に取り組むための事業の検討) ● 持続可能な組織づくり (各種団体等との連携強化、事業の棚卸し、事業内容の見直し、SNSの活用など地域住民を惹きつける情報発信と事業企画・運営、地域資源を活かしたコミュニティビジネスの導入) ● 単位自治組織との連携 (単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携・役割分担・機能補完、単位自治組織が行う諸事業へのサポート)					
市のコミュニティ施策	① 住民主体による地域課題解決を多面的に支援 (地域まちづくり未来事業やアドバイザー職員制度等により、地域ビジョン策定や地域の主体的な活動を支援。SNSの活用など新しい生活様式の導入) ② コミュニティ意識の醸成と担い手の育成促進 (子育て中の方や現役世代などだれでも参加しやすい地域活動を推進し、活躍の場の拡大を図る。ファシリテーションスキル等を向上できる研修会の開催) ③ 広域コミュニティ機能の強化 (先進事例の情報提供など地域運営組織の運営強化に向けた支援) ④ 小規模な単位自治組織への支援 (世帯数を配慮した交付金等算定。活動拠点の整備補助) ⑤ 安全・安心な暮らしの確保に向けた地域体制づくり (防災・福祉・まちづくりなど関係団体等と連携・協力して、多様化する課題解決を図る) ⑥ 生涯学習活動を通じた地域づくりの推進 (生涯学習推進員を配置し、市民の多様な学習・交流活動を支援) ⑦ 住民自治組織と行政の連携強化 (アドバイザー職員・コミュニティ支援員・集落支援員の配置、行政からの依頼事項の洗い出しや会議開催の見直し、手続きの簡素化等)					

目指す5年後の方向性 (計画の推進/連携イメージ図)

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く



※このイメージ図は、地域コミュニティの中核を担う住民自治組織と、地域の各種関係団体や企業、個人等が連携・協力しながら、また、市は各種支援と情報提供等により支えながら、地域が一体となって地域課題の解決等の地域づくりに取組み、目指す5年後の姿に向かうことを表したものです。
※計画の推進にあたっては、取組の点検、評価を行い、成果・課題を整理しながら、進行管理を行います。